

臨床研究へのご協力をお願い

京都大学医学部附属病院乳腺外科では他施設と共同で、「N・SAS-BC 01 試験」および「CUBC 試験」に付随する研究を行っております。

はじめに、「腋窩リンパ節転移陰性 high-risk 症例を対象とした UFT と CMF に関する術後補助化学療法無作為化比較試験」(N・SAS-BC 01 試験)あるいは「乳癌術後補助療法に関する UFT+TAM 療法と CMF+TAM 療法との比較研究」(CUBC 試験)にご参加頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

この度、当院では N・SAS-BC 01 試験および CUBC 試験に付随する「Stage I～ⅢA 乳癌切除症例における臨床病理学的因子の測定研究」(N・SAS-BC 01/CUBC 測定研究)に参加することになりました。この研究は、N・SAS-BC 01 試験あるいは CUBC 試験にご参加頂いた方を対象に行われ、乳癌治療の最適化を目的としています。

研究実施期間は 2015 年 12 月～2017 年 11 月の 2 年間です。

既に採取され保管されている病理標本を用いて研究を行いますので、新たな診察や検査の必要はありません。

以前手術で摘出し保存されているがん組織の病理標本を研究用試料として利用し、がんやその周囲の細胞におけるタンパク質の発現状況を調べます。そのため、新たな診察や検査は必要ありません。

研究計画書および研究の方法に関する資料を入手閲覧できます

この研究の内容をもっと詳しく知りたい場合には、研究実施計画書(プロトコル)を他の研究対象者等の個人情報等の保護、研究に支障がない範囲で閲覧することが出来ます。希望される場合には下記連絡先もしくは担当医師にお申し出ください。

当院外へ個人情報ができることはありません。

研究試料を測定機関に提供する際には、あなたを特定できる情報(お名前、住所、電話番号など)は記載しません。とりまとめた情報を医学雑誌などで発表する場合も、個人が特定されることはありません。

この研究にご自分の病理標本を使って欲しくない方は、お申し出下さい。

この研究への参加をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。また上記の研究期間中であれば、いつでもお断り頂けます。その場合はあなたのデータを集計に用いることはいたしません。

*この研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の承認を得ております。

*説明を希望される方、あるいは病理組織標本の利用を望まれない方は本ホームページ(<http://www.brca.jp>)上の「問い合わせ(info@brca.jp)」からご連絡いただくか、下記の連絡先もしくは担当医師にお申し出ください。

<研究代表者> 公益財団法人 がん研究会有明病院 乳腺センター 大野 真司

<京都大学医学部附属病院の連絡先>

研究責任者：標的治療腫瘍学講座(特定准教授) 石黒 洋 075-751-4950

病院の相談窓口：京都大学医学部附属病院 総務課 研究推進掛 075-751-4899

trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp